



発行責任者: 歯学部長 宮崎 隆, 編集責任者: 広報委員長 中村 雅典  
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL: 03-3784-8000  
ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp>



## 平成28年度父兄会秋季部会が開催されました

歯学部長 宮崎 隆

平成28年度の父兄会秋季部会(1年生父兄を除く)が、去る10月15日(土曜日)午後1時から旗の台校舎(医歯薬学部)と横浜校舎(保健医療学部)で開催されました。



歯学部全体会は4号館6階600号室で開催され、177組187名が出席しました。宮崎学部長から学生の国際交流事業への参加や全歯体の成績等を紹介して、学生が学業だけでなく課外活動にも積極的に取り組んで充実した学生生活を送れるようにご父母のご理解を求めました。美島教育委員長から進級判定ならびに卒業判定の説明があり、成績向上に向けて様々な支援体制をとっていることを紹介しました。上條学生部長から学生生活全般にわたる注意事項と、歯学部の学年主任・副主任の紹介がありました。学部全体会終了後、会場を移して、ご父母と各指導担任との個別懇談が行われました。昨年度から新しい指導担任制度がスタートし、4年生までは学部と学年の枠を超えた指導体制になりました。たとえば歯学部基礎講座に所属する指導担任は、2~4年生の医学部・歯学部・薬学部の学生を混成で8名ほど担当しています。指導担任は主に生活指導に力をいれ、別途学習支援の必要な学生に対して修学支援制度を導入して、成果があがっています。

3時半から7号館で医歯薬学部合同の懇親会が開催されました。與儀美由紀父兄会長の挨拶に引き続き、小口理事長から学生が充実した学生生活を送ることができるように最大限の支援をしたいとの挨拶がありました。指導担任を交えてご父母と楽しい歓談をし、午後4時半過ぎに散会しました。

## 昭和大学ホームカミングデーが開催されました

昭和大学歯学部同窓会 野中 直子

第9回昭和大学ホームカミングデーが10月9日(日)、昭和大学50年記念館において、旗が丘祭・いぶき祭に合わせて開催されました。ホームカミングデーは平成20年



より実施しており、今回で9回目となります。「お帰りなさい!懐かしき青春 思い出の母校へ」をテーマ

に、卒業50年と25年の卒業生を母校にご招待し、式典や懇親会に参加していただくとともに、旗が丘祭にも参加していただき、卒業生同士の親睦や現役学生達との交流を深め、昭和大学の現状を皆さんに知っていただく機会でもあります。

今回の招待学年は、卒業50年の医学部34回生と卒業25年の医学部59回生、歯学部9回生と薬学部22回生で、当日は残念ながら天候には恵まれませんでした。式典は、昭和大学管弦楽団によるオープニング演奏に始まり、高宮有介実行委員長より開式の辞、続いて小口勝司理事長、小出良平学長、仲保徹保健医療学部同窓会長からのご祝辞の後、卒業50年のゴールデン表彰、卒業25年のシルバー表彰の授与があり、各学部の代表者に記念の楯が渡されました。卒業生を代表して医学部34回生の川田忠典先生からご挨拶をいただきました。続いて昭和大学宣言を唱和し、グリークラブの部員とともに校歌斉唱後、応援指導部が卒業生へのエールと題し、演舞の披露がありました。式典に引き続き、同会場で懇親会が開催され、開会宣言、鏡開きがおこなわれ、乾杯の後歓談となりました。

ホームカミングデーは招待学年の方々だけでなく、卒業生の皆様に参加していただくことができます。また「卒業生子女のための進学相談会」も同時開催しておりますので、次回からは卒業生の皆様お誘い合わせの上、ご参加お待ちしております。

最後になりましたが、ホームカミングデーの運営に多大なご協力いただきました昭和大学総務部総務課の皆様深く感謝いたします。



## 歯学部入試説明会が開催されました

入試常任委員 井上 富雄



歯学部入試説明会が9月17日(土)に旗の台キャンパスの4号館401号室で行われました。

本説明会は、7月24日と8月13日に歯科病院で行われたオープンキャンパスと趣旨が異なり、予備校講師による歯学部入試問題の解説が中心です。本説明会の参加者は69組108名で、昨年度(71組108名)とほぼ同様の規模となりました。本説明会は、高見正道教授による歯学部の教育の特徴と入試の要点を説明で始まりました。続いて、駿台予備校講師が、過去に出題された「英語」、「数学」、「生物」、「化学」、「物理」の問題についてそれぞれ40分ずつ解説を行いました。参加者は両講演の内容に熱心に耳を傾けていました。また、歯学部教員による個別相談も平行して行われ、盛会のうちに17:30に終了しました。

## D5学部連携病棟実習が実施されました

口腔衛生学部門 弘中 祥司

学部連携病棟実習は、医歯薬学部5年生、保健医療学部3年生を3期に分けて昭和大学付属の7病院31病棟の協力を得て行う学部横断型の大規模実習です。昭和大学のチーム医療のコンセプトを表す代表的な必須科目であり、本実習のために、1年次からPBL等を通じてチーム医療を本学学生は学習してきました。I期は7月4日-8日。そしてII期9月26日-30日までが終了しました。また、III期は10月24日-28日に行われます。さらに、6年次には選択実習ではありますが、在宅のチーム医療教育も用意されており、自分が学生の時には、このような魅力的な教育システムは無かったので羨ましい限りではありますが、受入れ側の病棟スタッフや、病棟をマッチングする我々教員も苦勞しております。シミュレータではない本物の患者さんに協力を得ることも大変なことであると思います。

歯学部教員の先生方には、ファシリテータの仕事だけではなく、口腔内診察の指導も頂き、本誌面をお借りしまして御礼を申し上げます。



病棟での経験を生かして、患者さんの痛みになれる歯科医師が一人でも多くなればと切に願っております。

## D1地域連携歯科医療実習 I が実施されました

富士吉田教育部 前田 昌子



8月29日~9月17日までの3週間富士吉田教育部では初年次体験実習が行われました。本実習は昭和大学初年次教育の目玉の実習の1つで、学生たちも入学当初からこの実習を不安と楽しみのなか迎えます。初めの1週間は事前準備として、学部実習の概要説明、講義やグループごとに実習先について調べます。学部実習の概要説明では同窓会長の小原希生先生、馬見塚賢一郎先生にお越しいただき、歯科医師としての心構え、歯科医師会での活動を中心にお話をいただきました。

各グループは学部混成で3~5人に分かれ、病院見学1日、BLS・救急法1日、在宅医療実習1日、施設実習3日、学部実習3日をローテーションで行います。歯学部の学部実習は『地域連携歯科医療実習 I』として行われ、上級学年で行われる地域連携歯科医療実習 II、IIIにつながる導入の実習です。1年生は山梨県内の歯科診療所へ見学に行きます。見学先は富士吉田市に留まらず、河口湖町、都留市、甲府・甲州地区の診療所にもご協力をいただきました。本年度も34の歯科診療所にご協力をいただき無事実習が終了しました。見学の前日には実習前にご挨拶の電話かけ、患者誘導やエプロンかけの練習。前期に歯学入門で学習した見学する機会の多い診療内容の復習を行いました。

各診療所では日常の業務を見学させていただき、歯科医院内だけではなく、訪問診療にも同行させていただきました。また、富士吉田校舎では歯科材料に触れる機会が少ないため材料や機材の体験をさせていただきました。朝は緊張の面持ちで出発した学生たちも夕方の帰寮時には「楽しかった~」の第一声と共に1日の見学内容や体験したことを報告してくれ、充実した1日だったことが伝わってきました。翌日には見学内容の報告会を行い、発表の様子は後日報告書と共に各診療所へ送られます。実習指導に際し診療所の先生方だけでなく、多くの旗の台教員にもご協力をいただきました。この場をかりてお礼申し上げます。



## ファシリテータ養成ワークショップに参加しました

口腔リハビリテーション医学部門 羽根 瞳



8月25、26日にPBLファシリテータ養成ワークショップが開催され、参加させていただきました。

ファシリテータ養成コースに参加したのは計14名で、A・Bグループに7名ずつに分かれ、実際に模擬PBLを行いました。私が学生の頃に富士吉田で経験したPBLを思い出しつつ、今回はファシリテータとして参加し、学生目線・教員目線でシナリオについて考えることができたように思います。また、シナリオ作成コースの先生方が作成された新たなシナリオの内容も拝見させていただき、私が6年間で経験したPBLの内容よりも充実しており、今このシナリオでPBLを経験する学生を羨ましく思いました。

夜の懇親会では普段接する機会のない先生方、2次会では若手の先生方とからまつ荘で歓談させていただきました。大変貴重な経験になりました。

ワークショップに参加させていただくこと自体初めての経験で、2年前まで学生だった自分が初めて職員として他学部・富士吉田の先生方との交流を持つことができ、このワークショップの関係各位に深く感謝いたします。

## 介護老人福祉施設の夏祭りに参加しました

高齢者歯科学部門 桑澤 実希

8月21日に大田区の介護老人福祉施設で行われた夏祭りに参加してまいりました。20年ほど前から歯科訪問診療を行っている施設で、本学の学生教育にもご協力いただいています。施設敷地内は盛大な夏祭り会場となっていて、入居者と家族だけではなく、近隣住民も訪れて楽しんでいました。特設ステージでは本格的な和太鼓の演奏やプロによるマジックショー等が次々に行われて、老若男女が見入っていました。

私達は高齢者歯科・臨床研修医チームと、歯科衛生士・小児歯科が参加したボランティアチームに分かれ、「お口の健口体操」など合計3ステージを行いました。テンポの良い演歌のリズムに乗せたお口の運動を紹介して、入居者のご家族にも好評でした。要介護の高齢者にも楽しんでもらえるように音楽や小道具にも凝って練習を重ねた成果が爽やかに思いました。さらに、職員の方とも仕事以上に絆が深まる良い機会になりました。今後も、歯科診療を通して健康に寄与するよう積極的な活動を続けます。

今回のボランティアチームは大田区社会福祉協議会に登録しているボランティア団体でどなたでも参加可能です。ご興味のある方は草間(歯科衛生士室)までお問い合わせください。



## 関西地区の同窓生と懇談会を開催しました

歯学部長 宮崎 隆



去る10月1日(土)に大阪を訪問して、関西地区の歯学部同窓生有志と懇談会を開催しました。大阪会場の入学試験に向けて、同窓生に広報活動や入

試業務の支援をしていただいておりますが、その打合せを兼ねて毎年懇談会を開催しています。当日は大阪同窓会長の寺村先生のご尽力により、以下の9名の同窓生が参加してくれました。弘田和彦(2回生)、石山富造(2回生)、吉本 泰(3回生)、清水敏之(7回生)、山本漢権(7回生)、竹森健嗣(8回生)、古川 学(12回生)、寺村 薫(13回生)、岡田知子(18回生)(敬称略)

大学からは学事部の佐藤部長、佐々木課長、佐野係長、小暮係長が出席しました。また、今年から歯学部同窓会長に就任した小原先生も駆けつけてくれました。最近の大学の状況を紹介し、歯科医療の現状に関する有益な意見交換をすることができました。多くの卒業生が地域で活躍し、母校の支援をしてくださることに感謝申し上げます。

## 第110回歯科医師国家試験日程が決まりました

教育委員長 美島 健二

朝夕と涼しくなりとても過ごしやすい季節となりました。6年生は食欲も増し、いよいよ国家試験に向かってラストスパートを開始しております。第110回歯科医師国家試験の実施日程は来年の2月4日(土)、5日(日)と公示され、例年よりも4日ほど遅く施行されることとなりました。その準備として10月4日に第1回受験手続き説明会が行われ、11月中に出願、来年の1月に受験票交付という手続きとなります。また、合格発表は来年の3月17日(金)14時に行われます。

卒業試験Ⅰが9月26日、27日と施行され、これから6年生は卒業試験Ⅱ及びⅢと進んで行くこととなりますが、全員卒業、全員合格を目指して必ずや力を発揮してくれることと期待しています。

## 昭和大学副学長職を拝命しました

歯学部長 宮崎 隆

9月の理事会で、「昭和大学副学長に関する規程」が制定されました。本学では学校教育法第92条第4項に定める職務を行うものとして、学長の職務のうちの特定の分野・範囲を特命的に補佐するために、これまで学長補佐を置いてきました。今回、他大学に合わせて学長補佐の名称を副学長に変更したものです。これにともない、これまで学長補佐を務めていた宮崎隆(国際交流・キャリア支援担当)、高木 康(教育改革・IR担当)、後閑武彦(共同施設担当)、米山啓一郎(保険管理担当)の4名が引き続き副学長として選出されました。歯学部だけでなく、学生の国際交流や就職支援は大学全体の重要な業務ですので、引き続き学長を補佐して大学の発展に貢献する所存です。

## 富士吉田スクエアガーデンが竣工しました

歯学部長 宮崎 隆



昨年秋から工事を進めていた富士吉田スクエアガーデン(新体育館)と職員宿舎が竣工して、10月24日(月)に関係者

が参列して竣工式が挙行されました。本学は創立80周年記念事業の一環として、学生寮、講義棟の新設、ならびに食堂の増築等の整備を続けてきましたが、建設用地の取得に伴い新体育館の建設にこぎつきました。新体育館はバスケットボールコート1面、バレーボールコート2面の規模を有し、体育館としての機能に加え、大きな舞台とスクリーンを設備して式典・講演会の講堂機能、さらに災害時の市民をも対象とした防災拠点としての機能も有する多目的な設備になります。本学富士吉田校舎のシンボルとして、学生教育ならびに地域で活用するために、スクエアガーデンと命名されました。早速、10月28-30日に近代五種全日本選手権の会場として、また11月には寮祭の会場に使用されます。是非、富士吉田校舎に足をお運びください。

## 白菊会連合会総会が開催されました

口腔解剖学講座 中島 功

白菊会連合会平成28年度総会が10月17日(日)東京大学安田講堂にて開催されました。当日は天気も良く温かな穏やかな日で、参加大学8大学11学部から882名の会員さんと118名の同伴者が出席され、昭和大学歯学部からも49名の会員さんが参加されました。13時30分に会場となり、各校の解剖学教室員が会員さんをお出迎えしました。総会は今回の当番校である、東京大学医学部の岡部繁男教授による開会の辞で始まり、次いでこれ

までに御献体いただいた物故会員のご冥福を祈り参加者全員で黙祷をささげました。続いて文部科学省高等教育局医学教育課長、日本解剖学会理事長、日本篤志献体協会理事長、篤志解剖全国連合会会長、白菊会連合会会長の挨拶のあと会務報告が行われました。続いて次回の当番校である東京慈恵会医科大学の河合良訓教授の閉会の辞で総会は終了しました。今回は日比谷公会堂の改修工事に伴い例年と異なる場所で開催されました。安田講堂は1925年に竣工した歴史ある建物で、実に趣のある会となりました。休憩を挟んだ後、アトラクションとして養老孟司氏による「今、しあわせに生きること」というテーマで講演がおこなわれ、16時30分に終了しました。



## 第23回日本歯科医学会が開催されました

歯学教育推進室長 片岡 竜太



10月21日から23日まで福岡国際会議場で第23回日本歯科医学会が開催されました。本学からは学生が4題、教員・歯科医師会が6題発表しました。「文部科学省大学間連携共同教育推進事業:ITを活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成」演題として、北海道医療大学、岩手医科大学と本学の学生および関連歯科医師会から各1題と全体のまとめ1題の計7演題を発表しました。3大学の学生はお互いにポスター内容を説明し、交流を図りました。また D5の佐藤ゆり絵さんは歯科薬理学での研究成果を発表し、優秀賞を受賞しました。22日の夜には本学の九州地区の同窓会「九州歯科医学大会」が開催され、宮崎学部長、真鍋教授、高見教授、坂井講師と学生4名が参加し、同窓の先生方との懇親を深めました。

## 行事予定

広報委員長 中村 雅典

- ・ 11月3日 推薦・編入入試
- ・ 11月15日 創立記念日
- ・ 11月26日 昭和大学学士総会

## 昇任・採用

広報委員長 中村 雅典

中村 史郎 准教授(口腔生理学講座)

## 編集後記

口腔生理学講座 清本 聖文

ご寄稿下さいました皆様に厚く御礼申し上げます。